

みやがわ ぶっくだより

2023年10月
Vol.304

え まついのりこ



赤ちゃんからの 贈りもの

生後まだ2か月の赤ちゃんが、当店の「おはなし会」に参加してくれました。ママに抱かれて、真剣に絵本を見えています。その表情から「集中している!」のがうかがえます。見えるかどうか分からない、と思っていたわたしは感動でした。

当店では、子どもたち向けおはなし会を毎月4回しています。この日の赤ちゃんのママと、祖母のYさんはずっと以前からの参加者です。

「ママ」は小学生のころから、大人に交じってボランティアにも参加してくれました。その頃から「Yさん」と二人で、おはなしを「する」メンバーになってくれています。今では当店には欠かせない「文化の担い手」という存在です。この日は、新しくご家族の一員になった赤ちゃん



が「おはなし会デビュー」してくれました。わたしは楽しみと期待を持って、いつ? おはなしを「する」デビューしてくれるか? を想像してしまいます。

86才の老婆はちっちゃな赤ちゃんから未来の希望を感じさせてもらいました。さあ、読書の秋の始まりです!

(橋村孝子)

お知らせ

2023 10

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	おはなし会	定休日				
8	9	10	11	12	13	14
定休日	営業します	大人のための 絵本の時間	定休日	定休日		おはなし会
15	16	17	18	19	20	21
定休日		おはなし会	定休日	定休日		
22	23	24	25	26	27	28
定休日			定休日	定休日		おはなし会
29	30	31				
定休日						



10/12(木) 第6回紙芝居基礎講座

毎月第2木曜 午後2:00~ 資料代500円
定休日ですがお店で行います
お問い合わせはお店まで

おはなし会

3日(火) 11:00~
14日(土) 14:00~
17日(火) 11:00~
28日(土) 14:00~



大人のための絵本の時間

10日(火) 10:00~ 大人も絵本を楽しみたい!

紙芝居ピッポの会ミニ講座

2日(月) 14:00~

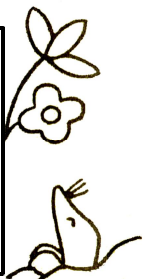
※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

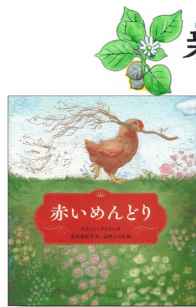
- 電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com
- 定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00~PM6:00
- ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>





「あーっとかたづけ」
作 田中達也
福音館書店 1,650円

ミニチュア写真家、見立て作家として幅広く活躍中の田中さん。散らかった部屋を後片付けしていきますが、どんな「お部屋」になるのかお楽しみ!



「赤いめんどり」
アリンン・アトリー 作
青木由紀子 訳
山内ふじ江 絵
福音館書店 1,540円

一人暮らしで話し相手のほしかったおばあさんの元に、不思議なめんどりがやってきました…読んであげるなら5、6才から、自分で読むなら低学年から



「どうぶつでんしゃ」
西村敏雄
あすなろ書房
1,430円

トンネルから電車が顔を出しました。誰が乗っているのかな? パオンパオン、ガオンガオン音がするよ。さて、電車に乗ってどこに行くのかな?



「ねみちゃんのチョコキ」
作 なかえよしを
絵 上野紀子
ポプラ社 1,430円

シリーズ40巻目!! 「ねずみくんのチョコキ」からもうじき50年! 50年を経て変わったところ、変わらないところを見つけてみて。



「きりんのこがせのびをしています」
林 木林 作
山口マオ 絵
金の星社 1,595円

キリンの子は、母さんより背が高くなりたくて…そして、もっと遠くののを見たくて首を伸ばしていたら…? わにわにシリーズでお馴染みの山口マオさんの版画です。



「おだんごダイブ」
文 大塚健太
絵 小林壮太
白泉社 1,430円

既刊の「おやつトランポリン」にも出てきたおだんごたちが、次々とダイブ。いろんな味になって、秋の美しいお月さまといっしょにせいぞろい!



「どんぐり」
たてのひろし
小峰書店 1,980円

木から落ちたどんぐりの行方。静かな森の営みを絵のみで語ります。精密に描かれた植物や生き物。モノクロの中に映える綺麗な差し色。



新刊紙芝居



「おばけのハロウィン」
脚本 内田麟太郎
絵 早川純子
童心社 2,090円 12場面

人間の子どもたちと遊びたいのに、すぐ逃げられてしまうおばけのムズムズ。ところがハロウィンでは…

大人コース



「ゆうやけにとけていく」
ザ・キャビンカンパニー
小学館 1,870円

美しい夕焼けに目をうばわれること、ありますよね。見ていると、その日の出来事があるこれ浮かんできたり、反対に嫌なことなどすーっと和らいでいったりと…そうして太陽がすっかり沈んでいくのをぼんやり眺める時の心は空つぽの状態に…。そんな夕暮れ時の様々な

空模様、心模様を描いた絵本です。色が素敵!本当に夕陽の光に包まれるようです。堀口大学の詩にこんな一節がありました。「夕暮れ時、自然は人に安息をすすめるようだ…かぎりなくやさしいひと時」
(さつき)